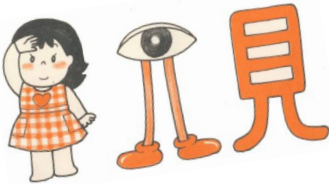


擬音語・擬態語

2.「見る」様子を表すことば

今日から授業をすることになった一郎は、めずらしそうにあちこち見ながら廊下を歩いていった。心は、期待と不安でいっぱいだった。教室に入ると中3の生徒が32人。視線を動かさずににらみつける者、何度もこちらを見ながらいやな笑い方をする者、頭のとっぺんから足の先まで遠慮なく見る者、ほんの一秒見ただけでマンガの続きを読み始める者。「うん、やりがいのあるクラスのように。」と一郎は思った。



- きょろきょろ めずらしそうにあちこち見る。

きょろきょろしながら町を歩いている人がいると、よそから来た人だとすぐにわかる。

- じっと ほかを見ないで、ひとつのところを見つめる。

子犬がじっと私を見ていたので、思わず拾ってきてしまった。

- じろじろ なんの遠慮もしないで上から下まで繰り返し見る。

電車に乗ったら、私をじろじろ見る変な人がいたので、場所を変えた。

- ちらちら 顔を動かさないようにして、ちょっとだけ何度も見る。

彼は早く帰りたいらしく、さっきから時計をちらちら見ている。

- ちらっと ちょっとだけ(一度だけ)見る。【=ちらりと】

さっき入ってきた客は、ちらっと品物を見ただけで何も買わずに出て行った。